

校長通信

止まり木



令和4年(2022年)

4月15日発行

第2号

大阪市立横堤中学校

心機一転



4月8日の始業式より1週間がたちました。1年生も少し中学校生活に慣れてきたでしょうか。先日の始業式でお話しした内容を以下に簡単にまとめました。自分の気持ちと照らし合わせながら思い出して読んでみてください。

始業式より

おはようございます。本年4月から横堤中学校の校長として皆さんの仲間入りをしました田中といいます。どうかよろしくお願いします。今日は新年度の始まりにあたり、何点かお話をしたいと思います。蔓延防止対策措置が解除され日常を少しずつ取り戻しつつある中、新しい年度の始まりをこうして皆さんと迎えることができたことを非常にうれしく思います。ただし、いまだ様々な制限があることも忘れず、今後も感染予防対策を徹底して欲しいと思います。

さて、新入生の入学をはじめ、この後紹介しますが多くの先生方に横堤中学校に来ていただきました。新しいたくさんのお会いができました。逆に昨年度までお世話になった先生方との別れもありました。さみしい思いをしている人もいるかもしれません。しかし、皆さんはこれからこのような出会いと別れを繰り返すこととなります。どうかこのような人との縁やつながりを大切にしてください。このことがきっとみなさんを成長させてくれるきっかけになると思います。

もう一つお話ししたいと思います。「心機一転」という言葉についてです。

みなさんもよく知っている言葉です。心機一転の「心機」とは、心の働きや気持ちを指し、「一転」とは、ひっくり返ることやガラリと変わることです。それらが組み合わさってきた「心機一転」とは、あるできごとがきっかけになって気持ちを入れ替え、考え方や気持ちが良い方向に切り替わるという意味を持ちます。1年生から2年生に、2年生から3年生に、そして小学生から中学生になったこのきっかけをもとに「よし、がんばろう」という前向きな気持ちに切り替えるチャンスの時ととらえ出発していきましょう。

最後に私には校長として一つの夢があります。それは「止まり木のような学校」を作ることです。止まり木とは大空を悠々と飛んでいる鳥たちもやがては飛ぶことに疲れ、木の枝にとまって羽を休め、また元気に飛び立っていく準備をします。その木のことです。

つらいことや苦しいことがあっても横堤中学校に行けば元気になる、先生方の顔を見れば安心できる。もう一度頑張ろうと思える。そんなあったかな学校を作りたいと思っています。皆さんの力も貸してください。一緒に毎日楽しく過ごせる学校を作っていきましょう。

4月11日の全校集会ではいよいよ「始まる」、「始まってしまふ」ではなく、さあ「始める」という積極的な気持ちで本格的に始まる授業や部活動、各行事に取り組んでいこうというお話をしました。覚えてましたか？ 今後は「生徒10カ条」についても少しずつお話していこうと思っています。